


一般質問通告書

次のとおり、質問したいので通告します。

令和元年 8月 18日

山北町議会議長 府川 輝夫 殿

受付番号	第3号	質問議員	1番	瀬戸恵津子	
件名	鳥獣被害対策と共にジビエの活用を				
要 旨					
<p>平成30年3月定例議会に一般質問しました鳥獣被害対策についての中で、シカやイノシシをジビエ（狩猟で得た天然の野生鳥獣の食肉）として活用することにより、捕獲獣の利用できる部分以外は、廃棄されるというような現状を変えるべきであり、処理加工場を設置しジビエカーも活用しながら、ジビエへの取り組みをすべきではと、提案しました。</p> <p>町は、鳥獣被害対策としてシカやイノシシ等を獲り続けるが、ジビエについては、活用は考えていない。鳥獣被害対策とジビエは、別々に考えるという見解を示されました。国は2023年度まで10年計画で個体数を半減させるという目標で獲り続けるとし、町も同様に行っています。</p> <p>しかし、シカやイノシシによって運ばれるヤマビル等の被害は拡大しています。ヤマビル等の対応策は、観光客に対しても周知されていると思いますが、シカやイノシシの頭数を減らさねば根本的な解決策にならないと思います。町民からも懸念の声があがっています。</p> <p>このような事から、猟友会・農家・JA・事業者・行政等関係団体が連携し、鳥獣被害対策の推進と共に、ジビエを活用する事により、地域が活性化するとの思いから質問します。</p> <ol style="list-style-type: none">1.ジビエは、広域的な取り組みにより実現できるのではないか。2.鳥獣被害の多い山北町が、国県へ補助金について働きかけを行うべきではないか。3.捕獲獣が平成30年度は1000頭を割っているが、狩猟者は足りているのか、町として支援の見直しを行うべきではないか。4.ヤマビル等出現地域の駆除剤の配布や、消毒剤等を設置してハイカー等への防止策の強化等、課題について対応は。 以上					